

自己点検・自己評価

(令和3年度)

令和4年2月10日

専門学校 山形V. カレッジ

1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標自己点検・評価項目			有・無
教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が、明文化(文章等にまとめ他者が確認できる状態)しているか。上記において職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等を盛り込んでいるか	1	【学内】学生等に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(学生便覧等)	有・無
	2	【学内】教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(教職員手帳等)	有・無
	3	【学外】学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。(HP、パンフレット、募集要項等)	有・無
	4	【学内】各修業期間における教育目的・目標が文書化され、教育計画が文書化され、提示されているか。	有・無
	5	【学外】各修業期間における教育目的・目標が文書化され、教育計画が文書化され、提示されているか。	有・無

2 教育の内容 自己点検・評価項目			有・無
各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか。	1	育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。	有・無
	2	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。(カリキュラム作成委員会等)	有・無
	3	カリキュラム作成メンバーの中に高校生の現状、社会ニーズを反映させるために複数の内部職員をいれているか。	有・無
	4	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者をいれているか。またはその意見を取り入れているか。	有・無
	5	シラバスあるいは講義要項等が作成されているか。	有・無
	6	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか。	有・無
	7	各教員からカリキュラム・シラバスが提出され、とりまとめられているか。	有・無
	8	シラバスあるいは講義要項等が事前に学生に配布されているか。	有・無
各学科の教育目標、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善への取り組みがされているか	9	学生によるアンケート等による授業評価が定期的に行われているか。	有・無
	10	結果に基づく教員面接を実施しているか。	有・無
	11	結果に基づく研修を実施しているか。	有・無
	12	結果に基づく授業観察を実施しているか。	有・無
	13	結果に基づく教員のレポート報告書、改善計画書等が作成されているか。	有・無
	14	その評価結果をもとに改善活動をしているか。	有・無
	15	授業改善のための組織的取り組みが行われているか。(授業改善委員会(FD)等)	有・無
各学科の教育目標、育成人材像に向け業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか	16	企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか。	有・無
	17	キャリア教育などをおこなっているか。	有・無
	18	ビジネス教育をおこなっているか。	有・無
	19	コミュニケーション能力の向上に向けた取組をおこなっているか。	有・無
	20	リメディアル(導入前教育、補習)を教育をやっているか。	有・無
	21	他の高等教育機関との連携講座等を行っているか。	有・無
	22	企業・地域・行政との連携を図っているか。	有・無
各学科の教育目標、育成人材像に向け教員の資質維持や向上に向けた取組がされているか	23	教職員の研修計画が作成されているか。	有・無
	24	専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のための内部研修・研究を実施しているか。	有・無
	25	専門性や指導力等の維持や向上のための外部研修・研究へ派遣しているか。	有・無
	26	専門性や指導力等の維持や向上のための自己啓発への時間的・財政的な支援をしているか。	有・無
	27	非常勤講師との定期的な情報共有を図っているか。(ミーティング、報告書、教務日誌等)	有・無

3 教育の実施体制 自己点検・評価項目			有・無
各学科の教育目標、育成人材像に向けて教育環境が整備・活用されているか。	1	組織機能図があるか。	有・無
	2	学校の年間スケジュールはあるか。	有・無
	3	図書室・図書コーナー等があるか。	有・無
	4	学生が利用できる参考図書、関連図書は備えられているか。	有・無
	5	就職支援を行う指定された場所があるか。	有・無
	6	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか。	有・無
	7	環境エコ活動(節電・ゴミ分別・節水)に関する規定が文書化・掲示されているか。	有・無
	8	学内の整理・整頓・清掃に関するルール等が文書化されているか。	有・無
	9	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理、チェックがされているか。	有・無
	10	学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか。	有・無
	11	学校生活(実習・行事・学外活動等)において保険に加入しているか。	有・無
	12	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか。	有・無
	13	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	有・無

4 教育目標の達成度と教育効果 自己点検・評価項目			有・無
各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか。	1	学生の就職に関する目標を設定したか。	有・無
	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか。	有・無
	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか。	有・無
	4	学生の就職結果に関して検証・報告がされたか。	有・無
	5	対外部に向けた就職実績を公表しているか。(パンフレット、HP等)	有・無
	6	評価・成績に関する目標を設定したか。	有・無
	7	評価・成績に関する目標に対して教職員に共有されているか。	有・無
	8	評価・成績に関する記録がなされているか。	有・無
	9	評価・成績に関して検証・報告がされたか。	有・無
	10	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか。	有・無
	11	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか。	有・無
	12	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか。	有・無
	13	資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか。	有・無
	14	退学率の目標を設定しているか。	有・無
	15	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか。	有・無
	16	退学結果に関して検証・報告がされたか。	有・無
	17	退学者数を公表しているか。	有・無
	18	卒業生(同窓生)の進路・就職先等の記録がなされているか。	有・無
	19	卒業生(同窓生)の進路・就職先等を公表しているか。	有・無
	20	卒業生(同窓生)の1年後の就業状況を把握しているか。	有・無
	21	卒業生(同窓生)の1年後の就業状況を公表しているか。	有・無

5 学生支援 自己点検・評価項目			有・無
各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(入学前)		学校案内等には育成人材像が明示されているか。	有・無
	2	学校案内等には目指す資格・検定・コンペが明示されているか。	有・無
	3	学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。	有・無
	4	学校案内等には選抜方法が明示されているか。	有・無
	5	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか。	有・無
	6	学校説明会等による情報提供(上記1から4)を行っているか。	有・無
	7	入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか。	有・無
	8	入学者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか。	有・無
各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)	9	担任による面談が定期的に行われているか。	有・無
	10	キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいるか。	有・無
	11	担任以外に学生の健康管理・メンタルヘルスについて相談できる担当者がいるか。	有・無
	12	学生指導に関する教職員の相談に応じる相談窓口が周知されているか。	有・無
	13	学生指導に関する教職員の相談に応じる体制があるか。	有・無
	14	学生の面談・相談記録があるか。	有・無
	15	定期的に健康診断を行っているか。	有・無
	16	奨学金制度等の経済的支援があるか。	有・無
各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(卒業後)	17	保護者との計画的な相談会・面談を行っているか。	有・無
	18	卒業生の会(同窓会等)はあるか。	有・無
	19	卒業生への職業紹介をしているか。	有・無
	20	卒業生への講習・研修を行っているか。	有・無
	21	卒業生の就業先への定期的な訪問をしているか。	有・無
	22	学校情報を卒業生に知らせているか。(HP, 学校便り等)	有・無
上記以外を通じての学生支援	23	企業の会(就職後援会等)はあるか。	有・無
	24	学校情報を保護者に知らせているか。(HP, 学校便り等)	有・無
	25	学校情報を高等学校等に知らせているか。(学校便り、DVD等)	有・無
	26	学校情報を企業等に知らせているか。(学校便り、DVD等)	有・無

6 社会的活動 自己点検・評価項目			有・無
意図的・計画的・組織的に社会活動への取組が推進されているか	1	目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を実施しているか。	有・無
	2	地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟をしているか。	有・無
	3	上記において定期的な会合に参加しているか。	有・無
	4	教育資源(施設・設備の開放・教職員の出張講座等)を地域社会に提供しているか。	有・無
	5	社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を評価・単位認定をしているか。	有・無
	6	地域貢献を目的とした公開講座等を実施しているか。	有・無

7 管理運営 自己点検・評価項目			有・無
学校の管理・運営体制が確立していること	1	理事会が定期的に開催されているか。	有・無
	2	評議員会が定期的に開催されているか。	有・無
	3	理事会・評議員会の議事録は公開されているか。	有・無
	4	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に開催されているか。	有・無
	5	組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか。	有・無
	6	決裁規程が文書化されているか。	有・無
	7	人事規程が文書化されているか。	有・無
	8	人事考課制度は文書化されているか。	有・無
	9	昇進・昇格制度は文書化されているか。	有・無
	10	賃金制度は文書化されているか。	有・無
	11	採用制度は文書化されているか。	有・無
	12	防災・防犯・非常時対策に対して文書化されているか。	有・無
	13	防災、防犯対策に対して組織化されているか。	有・無
	14	定期的に防災訓練を実施しているか。	有・無
	15	個人情報保護規程が文書化されているか。	有・無
	16	ハラスメントに関する規定が文書化されているか。	有・無
	17	公印管理簿があるか。	有・無
	18	出退勤管理簿があるか。	有・無
	19	受信・発信簿があるか。	有・無
	20	SD(スタッフディベロップメント)に関する計画・実施されてるか。	有・無
	21	教職員の健康診断がされているか。	有・無

8 財務 自己点検・評価項目			有・無
財務体質が健全であり財務運営が適切に行われているか	1	年度予算、中期計画が策定されているか。	有・無
	2	予算は計画に従って妥当に執行されているか定期的に確認しているか。	有・無
	3	会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか。	有・無
	4	会計監査(月次決算書等)の結果報告が文書等にて明確化されているか。	有・無
	5	私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか。	有・無
	6	固定資産管理規程が文書化されているか。	有・無
	7	図書管理規程(養成施設等)が文書化されているか。	有・無
	8	物品(消耗品、貯蔵品等)等の在庫管理をしているか。	有・無
	9	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか。	有・無
	10	物品購入等における複数業者からの確認がされているか。	有・無

9 改革・改善 自己点検・評価項目			有・無
各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確立して改革・改善のためのシステム構築がされているか	1	自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールが文書化されているか。	有・無
	2	自己点検・評価の組織があるか。	有・無
	3	評価・改善を行うための組織があるか。	有・無
	4	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか。	有・無
	5	自己点検・評価の結果を全教職員で共有する機会を設けたか。	有・無
	6	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか。	有・無
	7	自己点検・評価報告書があるか。	有・無
	8	自己点検・評価報告書が公表されているか。	有・無

校内 自己点検・自己評価

〈 年度目標 〉

- 1 職業実践専門課程設置校として、教育課程編成委員会での企業委員の意見を社会ニーズに添った実践的なカリキュラム作成に反映し、シラバスにより明確化する。
- 2 全学生を対象にして、年2回、外部調査機関のアンケートを実施する。日頃の目配りと併せて、アンケート結果から学習意欲等の意識変化を把握し学生支援を行う。
- 3 留学生入学にともない、学生個々の状況を理解したうえで、最大の教育効果が得られるように、教員はこれまでのやり方に捉われず、適切な教授方法について研究を重ねる。また、留学生の地域定着のため、関係団体・企業との連携を推進する。
- 4 教員研修の充実のため、企業・団体と連携した専攻分野の実務的研修、指導力向上の研修を実施するほか、外部での研修へも積極的に受講し資質向上に努める。
- 5 具体的な教育成果を残すために、教育活動の一層の充実を図り、教職員一丸となって学校運営の改善を実施する。

ガイドラインの 評価項目	自己点検評価報告事項
教育理念・目標	① 建学の精神・教育理念等明確になっている。
学校運営	① コロナ感染症拡大の影響により、来日学生が減少し留学生第2期1名がAI・情報システム科に入学、新入生26名・全校生65名で年度始業する。 ② 新型コロナウイルスの感染拡大に対し、感染防止対策をとることで、教職員・学生の感染者が発生していない。 ③ 外部団体の研修・特別講義を受託した。(山形刑務所・山本学園高校) ④ 次年度以降も学科・コースの見直しを行っていく。
教育活動	① 学園創立100周年記念事業「ファッションイベント」「西回りバス べにズくるりん 利用促進アプリ」に取り組み、法人内他校・他園との共同により、事業を成功させた。 ② 引き続き、留学生・日本人学生双方に対して教育効果が表れるカリキュラムと、授業方法の検討が必要である。 ③ 学生への業者アンケートを昨年度から導入している。在学中に3回実施することで、学生のモチベーションの変化が把握可能となった。学生とともに問題点をともに考えるなど、日ごろからの目配りを行う。 ④ 教育課程編成委員会を年2回開催し、企業委員の方々より、本校の教育について意見をいただいている。本校のカリキュラム編成において重要な位置づけとなる会議であり、継続開催となる。 ⑤ 人材育成協議会を年1回開催し、企業経営者、採用担当者の方々と学科別に意見交換を行い、カリキュラム、学生指導に反映する。 ⑥ 上場企業中心のIT系企業を講師にして、オンラインでの業界研究授業を受講した ⑦ ビッグデータマーケティング協会加入により、「初級マーカー養成講座」受講2学科 ⑧ 教員個々に各分野の研修を受講し、指導力向上を図った。 ⑨ 一般社団法人ディープラーニング協会主催ジェネラリスト検定（G検定）受験 ⑩ 5G導入のための環境整備を行い、学習活動に活用した

社会活動	① 県内4中学校から専門学校訪問の生徒を受け入れ、専門学校の教育内容を説明し、キャリアについて理解を深める機会を設けた。その他、1中学校に出前講座講師を派遣し、上級学校についての説明を行った。 ② 山形県公共職業訓練3講座「IT活用科」「PC会計科」を受託開講 ③ 山形県犯罪被害者支援活動への寄付金付自動販売機設置。支援活動を継続的に行う。 ④ キャリア実習としてボランティア活動に参加。
学修成果	① 公務員科公務員試験二次 100%合格。 ② ICTクリエイト科、ファッション・プロモート科は、コロナ禍の影響で、限られたコンクール、コンペティションの中で積極的に応募して、技術力を高めた。 ③ 1年生での上位検定合格が顕著である。 ④ おいしい東北パッケージデザイン展参加（東北経済産業局） 審査委員賞（大迫修三賞）受賞 ICTクリエイト科1名 ⑤ 医事コンピュータ検定3級成績優秀賞 医薬事務・企業会計科1名 ⑥ ファッションプロモート科卒業生 令和3年度山形県卓越技能者等知事表彰 受賞
就職支援	① 外部団体との連携により、1年生入学時から、キャリアコンサルタントによるセミナーを開催した。年間を通じた計画的指導により、順調な就職活動の開始となった。 ② 上場企業の合同企業説明会にリモート参加、上場企業への就職の門戸が広がった。 ③ 各種の講座を開催し、社会人としての素養を養った。 「みだしなみ講座」「仕事で役立つ社会保険講座」「国民年金講座」 ④ 卒業生のフォローを継続して実施している。 ⑤ 留学生採用促進のため、県内企業を対象に「留学生雇用説明会」を開催した。企業・、山形県担当課の出席を得た。 ⑥ 留学生就職内定者 県内17
学生支援	① 「高等教育修学支援制度」による学習支援開始。その他、国・県からの支援も対象となる。 ② 新型コロナワクチン職域接種により、学生・教職員59名が7月までに2回接種を終了した。 ③ 春期休業期間に保護者面談を実施し、家庭と学校との協力関係を築き、学生の学習を支援していく。その他、必要に応じて、電話連絡や面談の場を設けるなど、学生支援を行ってきた。 ④ 様々な悩みを抱えるため欠課の多い学生には、個々の状況に応じた指導を行い、進級・卒業を目指させる。 ⑤ キャリア教育、学生の就職支援の一環として「ワーキングアドベンチャー」を実施している。企業との連携を図り、本校学生・県内の高校生等と、企業トップの方との座談会等を行う。参加者の就職意欲の向上とともに、企業研究の機会となっている。 ⑥ 留学生のアルバイト先の紹介と就労指導を行う。 ⑦ 留学生の在留資格更新時の申請書作成支援・代理申請を行い、全員の在留更新が認可されたが、資格外活動の許可時間の超過により、警告を受けた学生があった。 ⑧ 留学生生活支援として、「国民年金講座」を2回開講し、加入率向上に努めた。
教育環境	① 内空調設備の不具合教室が増加しているが、文科省補助金を活用して2部屋の修理を実施 ② トイレの排水、雨漏りなど、校舎の老朽化に伴う不具合箇所が複数発生してきた。応急処置を講じながら使用している。

学生の受入れ 募集	① 全教職員が募集活動を努力していく。学校説明会は直接来校の他、オンラインを取り入れた。また、学校用通信機器をスマートフォンに変更し、募集に活用する。 ② 学校説明会・体験入学時の本校紹介にパワーポイントを使用することで、教職員が紹介内容の共有ができるようになった。 ③ コロナ感染予防のため、高校での外部者受け入れ制限があったが、パンフレットを県内各校に送付して緊急対応した。追って、高校訪問を実施した。 ④ リスティング広告による本校 HP へのアクセス数は昨年度同等の効果が見られた。1 月中にも実施するので増加が見込める。 ⑤ リクルートのスタディサプリを継続し、資料請求、体験入学者、体験入学等参加者アンケートを取得しデータベース化した。 ⑥ 留学生募集にあたっては、コロナ禍の影響により、来日留学生の減少、県外日本語学校への募集訪問が不可能となった。アジアマーケティングとの連携を強化した募集活動を行う。
財 務	① ホームページ上で公表している。 ② 募集により一層力を入れ、健全な経営が行えるように努力する。 ③ 受託事業として、山形刑務所・への講師派遣、通信制高校への校舎貸し出しを行った。 ④ 教育活動の中でも、支出を抑える努力を継続する。
法令等の順守	順守している。

教育課程編成委員会の意見を基に、実践的なカリキュラムを作成していくことに力を入れ、時代、企業の必要としている人間の教育に力を入れていく。

学科別 自己点検・自己評価

令和3年度

適切 ほぼ適切 やや不適切 不適切				A B C D	情報・建築系						ファッション・ビジネス系					公務員系
					AI・情報システム科 情報システム科		ICTクリエイト科		建築科		ファッション プロモート科		医薬事務 ・企業会計科		医療 事務 科	公務員科
					1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年		
1 教育活動				授業 時数	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900
授業時間数の確保	1	各科目の授業時間は適正に確保されているか。			A	A	A	A	－	A	A	A	A	A	A	A
	2	年間の授業時間の確保はされているか。			A	A	A	A	－	A	A	A	A	A	A	A
カリキュラム内容	1	各学科の目標に向けたカリキュラムが作成されい るか。			A	A	A	A	－	A	A	A	A	A	A	A
	2	目標が達成されたか。			A	B	A	B	－	A	A	A	A	B	A	A
	3	カリキュラムの進捗度合いについては計画通りと なっているか。			A	B	A	B	－	B	A	A	A	B	A	A
	4	教材は適正であるか。			A	A	A	A	－	A	A	A	A	A	A	A
	5	学科内のコース割は適正であるか。			A	A	A	A	－	—	A	A	B	B	—	A
	6	学生の満足度に対し調査をしているか。			A	A	A	A	－	A	A	A	A	A	A	A
	7	低学力学生への取り組みはなされているか。			A	A	B	B	－	A	A	A	A	A	A	A
	8	企業ニーズへのマッチングは合っているか。			A	B	A	C	－	A	A	A	B	B	A	A
	9	企業と連携したカリキュラムを作成しているか。			A	A	A	A	－	A	A	A	A	A	A	—
	10	教育課程編成委員会の意見を取り入れたカリ キュラムとなっているか。			A	A	A	A	－	A	A	A	A	A	A	A
	11	目標達成率(80以上をA、60～79をB、50～59を C、49以下をDと表示)			A	B	－	D	－	A	A	A	A	D	A	A
	12	進捗度合い(80以上をA、60～79をB、50～59を C、49以下をDと表示)			A	B	A	C	－	A	A	A	A	B	A	A
2 学修成果																
資格・検定取得	1	基本検定が公開されているか。			A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	2	基本検定合格に向けての取り組みが十分にされ ているか。			A	A	A	A	－	B	A	A	A	A	A	A
	3	基本検定取得率(80以上をA、60～79をB、50～ 59をC、49以下をDと表示)			A	B	B	D	－	B	A	D	B	A	A	A
	4	目標検定が公開されているか。			A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	A	—
	5	目標検定合格に向けての取り組みが十分にされ ているか。			A	A	B	B	－	B	B	B	A	C	A	—
	6	目標検定取得率(80以上をA、60～79をB、50～ 59をC、49以下をDと表示)			－	D	－	D	－	D	—	D	B	D	A	—
就職	1	就職率の向上が図られているか。			－	C	－	C	－	A	—	B	—	D	—	A
	2	就職率(80以上をA、60～79をB、50～59をC、49 以下をDと表示)			－	D	－	D	－	C	—	D	—	D	A	A
退学・休学	1	退学率の低減が図られているか。			A	A	A	A	D	B	A	A	A	A	A	A
	2	休学率(0～5をA、5～7をB、8～10をC、11以上 をDと表示)			A	A	A	A	－	A	A	A	A	A	A	A
	3	退学率(0～5をA、5～7をB、8～10をC、11以上 をDと表示)			A	A	D	A	D	B	A	D	A	A	A	D
3 学生支援																
人間教育	1	人間教育への取り組みがなされているか。			A	A	A	A	－	A	A	A	A	A	A	A
キャリア教育	2	キャリア実習に関する支援を行っているか。			A	A	A	A	－	A	A	A	A	A	A	A
保護者との連絡	3	保護者面談を行っているか。			B	B	A	B	－	A	A	A	A	A	B	A
4 学生募集																
学科・コース	1	学科名が適正であるか。			A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A
	2	コースの設置が適正であるか。			A	A	A	A	－	—	A	A	B	B	—	A
	3	社会のニーズに合った内容であるか。			A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	A	A

各系 自己点検・自己評価

	2021 教育活動・学修成果における評価	2021 反省点および具体的な対策案
シ A ス テ ム 情 報 科	・退学者:0(1年)1(2年)。2年生の退学者は自己都合で帰国し退学処分となった。 ・検定取得平均1.1だった。日本人のみでは2.8だった。(2年) ・就職内定20名中9名。(2年)	・留学生は就職で苦心しているが最終的には進学し帰国する者はいない。日本人は就職活動が困難なもの。活動する気のないものが残っている(2年) ・昨年同様対外活動はほとんどできていない。(共通)
ICT クリ エ イ ト 科	〔共通〕 ・JFN学生ラジオCMコンテスト参加 ・チャリティー年賀状 全国学生デザインコンテスト2022参加 〔2年〕 ・ラジオCMコンテスト(ybc主催)参加 ・山形市 西回りバスアプリ「べにズくるりん」制作 ・b-arrive主催40社合同オンライン授業参加 〔1年〕 ・山形市 西回りバスアプリ「べにズくるりん」アイコン制作 ・おいしい東北パッケージデザイン展参加(東北経済産業局) 審査委員賞(大迫修三賞)受賞 1名	〔共通〕 ・コロナの影響で検定試験の受験形態も変わり対応に苦慮した。目標検定取得者が出なかった。(1月13日現在) ・検定同様、コンペティションも減少傾向にあり応募数も限定的だった。 →次年度は、検定、課題が家でもできる環境を提供していくことを検討したい。(AdobeCC学生ライセンスパック) 〔2年〕 ・就職は、日本人学生は内定は1/2である。内定した学生は専門職に就くことができた。 →クリエイティブな授業のウェイトを増やし、デザイン業界の就職活動に必要な科目を設置。今後、専門職への就職率の向上を図る。(ポートフォリオ制作等) ・留学生の進捗が非常に悪く、日本人学生が検定取得、コンペへの応募でだいぶ遅れた。(問題が読めない、学科名が打てない、話を聞いていない。等) 〔1年〕 ・身体的な事情により退学者(1名)を出してしまった。 ・印刷業会でのインターンシップを実施することができた。 →企業との良い関係を築き継続できるよう力を入れる。
建築 科	・JFN学生ラジオCMコンテスト参加 ・山本学園100周年記念円形校舎制作 ・昨年に引き続き、建築業関係の企業のご協力により現場の経験・研修を取り入れた授業を行うことができた。 ・2級施工管理士を1名受験。その他検定受験をすることができた。 ・就職率については2名中1名内定(50%)。建築業に内定している。	・普通科高校卒業の場合、2級建築士の受験が卒業後でないとできないことから、在学中の試験合格に向けてのフォローが非常に難しい。次年度は実習的な授業のほかに試験対策の授業も多く取り入れていきたい。 ・今年度は色彩の授業があったためカラーコーディネータの取得が目指せたが次年度はまた、取得を目指す検定がほぼなくなる。在学中に目指せる資格がもっとないか検討していく。

ファッション・プロモーション科	＜共通＞ ・山本学園創立100周年記念ファッションイベント開催 各自、企画からデザイン、縫製、演出、モデルまで、目的をもって挑戦することができた。学科で話し合い、自ら積極的に行動することができた。 ・ドキュメンタリー映画への衣装製作 依頼者、出演者の方々とコミュニケーションをとり要望に応えたダンス衣装を製作することができた。 ・山本学園100周年記念ラジオCM制作 ・山本学園100周年記念事業 西回りバスアプリ製作スタッフとして、情報収集、地域へのPR活動を行った。 ・ビッグデータマーケター養成講座受講 ・竹田西部幼稚園との合同お茶会 作法 お手前 自装着付けなど学習成果の場となる。 ＜1年生＞ 学習に対して意欲的で、洋裁の基礎である製図をマスターすることができた。 ＜2年生＞ 企業と連携し充実した現場での授業を行うことができた。また、プロの方々から指導をいただき技術の向上につ・ビッグデータマーケター養成講座受講がかった。	＜共通＞山本学園100周年記念イベントファッションショーに力を入れ成功させることができた。次年度は、対策は早めに行い技能五輪に挑戦していきたい。 実習室の整理整頓が不十分だった。環境を整え、作業効率が上がらないようにしていく。 ＜1年＞退学者が1名でてしまった。 ＜2年＞学習成果として検定取得につなげることができなかった。
医療事務・企業会計科	【共通】 ・山本学園100周年記念ラジオCM制作 放送 ・JFN学生ラジオCMコンテスト出展 にて100周年をPRし、実践的なプレゼンテーションを経験した。 ・ベにズくるりんの利用アンケートを実施し、100周年記念事業アプリ開発のデータとした。 ・ビッグデータマーケター養成講座受講 【1年】 ・学習進度の相違はあるが、各人の目的をもって建設的な努力した。 ・「(株)ソルハ」の協力により、ドラッグ業界業界研究会を開催 ・目標検定 3名合格 ・医事コンピュータ検定成績優秀賞 受賞1名 【2年】 ・登録販売者試験に向けて意欲をもって臨んだ ・1年次と比較し、自分の考えをもって行動できるようになった。	【共通】 医療事務等、仕事理解の機会を設ける。 他科、他学年との交流を活発にする。 【1年】 ・本校入学の目的は個々に異なるので、各人の意思を尊重しながらも、学科が目標とする人材育成を達成する。 ・検定受験数が例年に比して少ない。2年次は学習成果を検定合格で表すように挑戦していく。 【2年】 ・就職年次生としての精神の高まりを育てられなかった。 ・2年間の専門課程にふさわしい成果(検定・就職)を挙げることができなかった ・登録販売者試験を再受験の意欲がある学生には引き続き支援を行う
医療事務科	・医療事務職志望の意志を持って入学しており、常に職業と学習を関連付けて学習に臨んだ結果、2名とも医療事務職に内定。 ・山本学園100周年記念事業 西回りバスアプリ製作スタッフとして、情報収集、地域へのPR活動を行った。 ・2名ともに目標検定に合格。 ・高等修学支援金給付による修学者が1名	・入学後から専門学習と就職活動が開始するため、学生の状況に応じた調整を行い、学習と就職の両面で結果を出す。 ・1年間で専門学校卒業の価値をつけるため、多種の検定試験受験、合格は次年度も必須である。
公務員科	【共通】 ・2次試験に全員合格し、公務員就職率100%を達成できた。 ・校内ガイダンス実施をすることができた(神奈川県警、山形県警、自衛官、山形県職)。例年オープンキャンパスで実施していたOBOG交流会の実施はできなかったが、山形県警ガイダンスではOBに何度か足を運んでもらい、交流を図ることができたので良かった。 ・キャリア実習ではボランティアを選択した学生もあり、自発的な活動がみられた。	【共通】 ・物静かな学生がそろい、活発なクラスとはならなかった。→他学科との交流も多く図る取組みをしていく。 ・エアコンのある教室の確保や移動をしなければならず、学習(外部受け入れも含めた模擬試験や講座を実施)する環境が整えられなかった。 ・大卒と高卒程度の受験者への対応が難しく、大卒試験の対応に手間を取られた。また、公務員に合格した後に学校に来なくなる(退学を希望する)ケースが生じた。